

## 第5期第1回生涯学習センター運営協議会議事要旨

〔日 時〕 2020年7月31日（金） 午後3時～5時

〔場 所〕 町田市生涯学習センター 学習室1・2

〔出席者〕 ※敬称略

委 員：陶山慎治（会長）、古里貴士（副会長）、相澤真理、荒井仁、白崎好邦、  
関村浩、西澤正彦、服部くに子、山口隆三、以上9名

事務局：塩田センター長、田中担当課長、岡田管理係長、高木事業係長、三橋主任

〔欠席者〕 ※敬称略

荒井容子、大野浩子、堂前雅史 以上3名

〔傍聴人〕 なし

〔資 料〕 【1】 第5期生涯学習センター運営協議会委員名簿（2020年度）

【2】 運営協議会の進め方について

【3】 2020年度東京都公民館連絡協議会の報告

【4】 第4期町田市生涯学習センター運営協議会報告書（中間まとめ）

【5】 町田市生涯学習審議会 2019年度答申

【6】 町田市行政経営改革プラン（抜粋）

【7】 債権者登録のご案内

【8】 町田市生涯学習センター運営協議会設置要綱（参考）

### 1 はじめに

#### （1）第5期生涯学習センター運営協議会委員のご紹介

○塩田センター長あいさつ

- ・第5期生涯学習センター運営協議会の第1回目を開催する。
- ・委嘱状は、コロナウイルス感染拡大防止による施設の一時閉館のため送付で代替とした。
- ・センターは、市の他施設と同様に6月8日から段階的に貸し出しを再開した。
- ・ことぶき大学、市民大学等講座の前期分は中止、後期から再開する。
- ・委員の皆様には、センターが持つ事業への課題やセンターが果たすべき役割、今後の方向性等にご意見をいただきたい。ご意見をもとに、センターの事業をより充実したものにするよう努めていく。

○各委員の自己紹介を行う。

### 2 議 題

#### （1）正副会長の選出

会長に陶山委員、副会長に古里委員が選出される。

○会長あいさつ

- ・3期務める中で、生涯学習センターのあり方「どういう立場の方でも学べる環境をつくること」「子どもから、世代間交流で学ぶことができる」ということを議論してきた。

- ・今、コロナで「人と人が出会って一緒に」ということができにくい状況だが、今まで継続的に取り組んできたことを更に皆さんの力を借りて進めていきたい。
- ・皆さんからの積極的な意見が出て、町田市の生涯学習の様々なところに影響が及ぶように努めていきたい。

## (2) 各種委員の選出

町田市生涯学習審議会委員に陶山会長、東京都公民館連絡協議会委員部会委員に白崎委員が選出される。（東京都公民館連絡協議会委員部会委員の交代は今年度中に行う）

## (3) 協議会の進め方について

○事務局が説明し、委員間で同意される

- ・第4期運営協議会では、「市民ニーズに沿った生涯学習センター事業の推進」について議論され、3月に「中間まとめ」がセンター長に提出された。
- ・町田市生涯学習審議会から、2019年度に「町田市生涯学習センターに求められる役割」について答申されている。
- ・町田市基本計画に基づく町田市行政経営改革プランでは、「生涯学習センターのあり方の見直し」を行い、2021年度までに生涯学習センターの役割を明確化し、効果的・効率的な管理運営手法を検討し方向性を決定することとしている。
- ・これまで運営協議会では、自発的に検討内容を決定していた経緯があるが、第5期は、「中間まとめ」を引き継ぎ、審議会答申、改革プランを踏まえた形でセンター事業の推進について継続して検討する。

○日程について事務局提案が同意される

- ・今期の運営協議会は年8回、4月～6月の閉館により3月を除いた残り9カ月の各月で開催する。今後望ましい開催曜日、開催の時間帯について協議する。

○開催方式について検討する

- ・集合形式に加え、リモート会議や書面会議などの非接触型の会議形式など、今後の開催方式について検討する。

### 【委員意見】

- ・リモートは大変なので集合形式か書面が良い。
- ・今、英会話できないのでスマホや電話でやっている。集まってできるのが一番よい。
- ・大学の春学期は学生をキャンパスに入れていない。後期も極力入れないでオンライン授業を続けようと思う。

【会長】生涯学習センターの講座もオンラインを始めている。アンケートをとって、皆さんに一番良い方法を事務局と調整していきたい。

## 3 報告事項

### (1) 東京都公民館連絡協議会について

○白崎委員から資料に基づき報告

- ・東京都連絡協議会、都公連と略称している。
- ・2019年度は小金井市で開催。会議前半は年2回開催の研修会の企画運営の検討、後半は情報交換。公民館と委員相互の連携や委員の資質の向上が図れた。

- ・「公運審委員の役割とは」という、なりたい姿、なるべき姿をまとめた。「講座から生まれた活動事例集」を作成し研究大会で配布した。・今年度は4月にメールで、6月から集合形式で会議開催。
  - ・都公連ホームページが5月1日から開始。
  - ・今年度の第57回東京都公民館研究大会は町田市が事務局で来年1月24日に市民ホールで行う。メインテーマは「コロナ時代に向き合う公民館」。
- ※今年度は町田市が事務局で他市の職員と企画運営を進めているが、現在の状況から集合形式でできるか協議している。
- ・第1回研修会は10月24日小平市公民館で「緊急事態宣言後の公民館の在り方」をテーマに実施予定。

(2) 第4期町田市生涯学習センター運営協議会報告書「市民ニーズに沿った生涯学習センター事業の推進について（中間まとめ）」について

○古里委員から報告書を基に説明

- ・2年間では、結論に至らなかったもので、一旦、今まで議論したことを整理し中間まとめとしている。
- ・1ページ目の「はじめに」で大まかな問題意識を書いている。「社会状況の変化に即した形になっているのか」、「不足している部分や今後改善や取り組まなければいけない事業があるのではないのか」、という問題意識にたって「市民ニーズ」に焦点をあて議論した。実際にどのような市民ニーズがあるのか、その市民ニーズに合致したどのような事業をしているのか、課題は何か、どのような方向性をとっていけばいいのか議論し、最後に「おわりに」でまとめている。
- ・「おわりに」は大きく3つの課題に分けている。「センターの認知度をどう上げていくか」「市民が抱えているニーズをどう事業化していくのか」「センターが把握していない潜在的ニーズ（声なき声）をどう把握し、ニーズの事業化につなげていくのか」。これらのまとめに繋がるものとして、前の部分がかかれている。例えばNAVIと言う冊子と電子版も発行しているが、「情報源として有効に使われているのか」、「情報発信の面で改善する部分があるのではないのか」、「センターが1館しかない中で、全ての情報の収集・発信をセンターがするのか」、「他部署と連携して生涯学習センターだからこそできる講座を作っていくべき」など課題として出ている。
- ・これを2020年3月にまとめ、コロナ禍で通常通り運営できない中で既に色々とセンターでも改善や取り組みを行っている。今年度、この中間まとめで終わっているものを、更にブラッシュアップして2年間でかたちにしていける議論ができればと思う。

【委員質問・意見➡事務局回答】

- ・講座の受講者数データはあるか。➡ある
- ・その中の意見内容を知らせてほしい。➡この会議の前期・後期に報告している
- ・講座案内は町内会の回覧板に入れると良い。➡紙と一緒に電子版も出し、場所を選ばず見ることができるようにしている。
- ・受講した人の反響が大事。その中で改善できることは行って。
- ・「答申書を踏まえて検討する」とは、中間報告に書かれていることが答申書の内容とマッチしているか、抜けているものがないか検討する必要があるということか。

➤審議会の答申は教育委員会の諮問を受けて答申したもの。中間報告はセンター長が受けるもの。チェックではなく、答申を深読みして具体的な意見を出すこと。今年度はコロナ関係で休館中に「どうやってここの知名度を上げるか」、「講座の雰囲気味わってもらおうか」を考え「マナミンとマナブーのオンライン学習」講座を開設した。市のホームページで、今までは講座案内だけだったが、塗り絵や川柳など双方向でできるもの、講師の賛同を得た歴史講座や体操講座などにトライした。これも、中間まとめからヒントをいただいたもの。

- ・認知度が低いという話があったが、私もここを利用できたのは2、3回。子どもたちは、ここまで足を延ばすのは難しい。町1小の子どもたちでも、大通りを超えてここまで来るのは範囲が広くて難しい。オンラインの学習は子どもたちにも興味を持てる内容だと思う。このチラシを学校に配布すると良い。➤試行的に開始したので、定着していけばPRを考えていく。

(3) 町田市生涯学習審議会 2019年度答申「町田市生涯学習センターに求められる役割」について

○事務局から資料の概要を基に説明。

2020年3月に町田市教育委員会の附属機関である、町田市生涯学習審議会から出された答申。以下は提言の中心になるもの。

3. これからの生涯学習センターについて (本文8~10ページ)

- (1) 誰もが学べる環境をつくる
- (2) 課題解決を支援する
- (3) 学びの視野を広げる
- (4) 学びのネットワークづくりを促進する

【会長】委員の皆さんの意見は、この会議に出席する会長がエッセンスとして入れて発言する。

(4) 町田市行政経営改革プラン「3-3-13 生涯学習センターのあり方の見直し」について

○事務局から資料の概要を基に説明。

- ・町田市の基本計画である「まちだ未来づくりプラン」に記載されている行政改革方針は、2017年度から2021年度にかけて実行することとされている48の取組項目がある。「生涯学習センターのあり方の見直し」も取組項目の一つ。目的は「生涯学習センターの役割の明確化」「生涯学習センターの効率的・効果的な運営」

【委員質問・意見】

- ・ウイズコロナの時代は2年間続くと言われている。この話をしないで、何でこんな話をしているのかと思う。当面考えないといけないのは「はたして今まで通りの活動でいいのか」という問題。これを話さないと今の時代に即応した生涯学習にはならない。
- ・中間まとめの「市民ニーズに沿った」という言葉で話が大分狭まる気がする。逆に市民ニーズをどう調べるのか、前任者は2018年度のアンケートを調べてこれにたどり着いたと思う。我々も、もう一度それをやる必要があるのか、そうすると、新生活様式に生涯学習をどのように持って行ったらいいのか、ここにプラスアルファの内容を我々が追加するのではな

【会長】過去のやり取りにとらわれず、これからのあり方を考えていきたい。今日は顔合わせということで、共有できたと思う。これにて第1回生涯学習センター運営協議会を終了します。